

質疑並びに一般質問

9月定例会では6日間にわたり、市の課題や将来の展望・計画、市政運営がしっかり行われているのかなど、市長や市に対して18人の議員が質問しました。ここでは、その一部をお知らせします。

※この記事は各議員が要約して執筆しています。

柏清風

つむらや
円谷 憲人

保育園への入園ー柔軟な対応を

Q 保育園への入園の基準では、園に2歳児のあきがあっても、1歳11カ月の子は入れない。子育て世帯にとって、保育園に入れるかどうかは、深刻な問題だ。多くの市民が直面している問題だからこそ、市や職員が厳格にルールを守らなくてはならない現状は理解できる。しかし、今後こういったケースに対応できるように弾力性のあるルールづくりが必要だと思うがどうか。

A あきのある歳児の枠を他の歳児に転用する件は、市と園が協議によって判断しており、可能な場合は現に実施している。その一方で園ごとの総定員数が決まっているため、ふやした分は翌年度以降に別の歳児の枠を減らすなどの調整が必要になる。そのため、各歳児における児童数のバランスを長期的、全体的に考慮する必要がある。そのようなことから、保護者それぞれの事情は十分理解できるものの、公平性の観点から難しい部分もある。しかしながら、行政サービスの提供を行う上では、現行制度の範囲内で可能な限り各家庭の事情に寄り添う柔軟な対応が重要だ。各家庭それぞれの状況、要望を丁寧に伺いながら、保育アシストデスク^{知+}などを活用し、その時点でとり得る最善の方法を紹介、提案できるように努めていく。

Q 本市の予算が税金で成り立っている以上、本市は四十数万人の顧客を抱える企業だ。顧客の満足するサービスを提供できるよう最大限努力することは、企業の義務である。特に子育て世代とこれから柏で育つ子供は、少子高齢化を迎える本市の浮沈の鍵を握っているといっても過言ではない。保育園の整備や教育の充実などで子育てしやすいまちづくりをすることが最大の定住促進策だと思うが、市長の考えは。

A 御指摘のとおり、大変重要な施策だと思う。一方で公平性も持たなくてはならないので、そのバランスをとっていきたい。



パブリックビューイング、講演会などオールブラックス関連イベントの予定は

Q 来年9月のラグビーワールドカップ^{知+}で来日、本市で事前キャンプ^{知+}を実施するニュージーランド代表オールブラックスに関連したイベント開催のための補正予算が組まれているが、具体的な内容は。

A 11月3日、ららぽーと柏の葉においてオールブラックス対日本代表のテスト

マッチのパブリックビューイングを実施する。また、トップリーグのNECグリーンロケッツの選手による子供向けのトークショーを行う予定だ。さらに、年明けにはオールブラックスのステーブ・ハンセンヘッドコーチの講演会を実施する。組織論や高いパフォーマンスを発揮できるマネジメントなど、ラグビーに関心がない市民も参加できる講演会にしたい。市主催以外のイベントとしては、10月7日と13日に柏の葉総合競技場で開催されるトップリーグの試合において、オールブラックスの事前キャンプをPRする。また、7日はニュージーランドの先住民マオリ族の伝統であるハカ^{知+}が披露され、13日には市立柏高校吹奏楽部によるニュージーランド民族音楽の演奏が行われる予定だ。10月20日には、本市後援のイベントとして、オールブラックスの現役選手と市民の交流イベントが計画されている。現在、主催者が調整を行っているが、今年度の目玉のイベントになることが期待される。



10月7日トップリーグ開催時のイベント

補助金の対象をクラブチームにも／スポーツ課の市長部局への移管

Q スポーツ課の所属が教育委員会から市長部局に変わる。これまでスポーツ課を通して配分されていた各スポーツ団体への補助金はどうか。

A 各スポーツ団体への補助金は、柏市スポーツ振興補助金交付要綱、柏市生涯スポーツ団体振興補助金交付要綱に基づき、柏市体育協会をはじめ12団体に交付している。スポーツ行政の市長部局への移管後も、現行の施策を基本とする方向で、補助金についてもこれまでと同様の扱いになる。

Q 教育委員会と市長部局は、あえて別々に運営されている組織だ。その両者間をまたいで所管を変えるのは、非常に大きなことだ。これまでと同じ交付先に補助金を出すこと自体には賛成だが、同じ基準のまま交付することには違和感があり、新しい基準が必要だと思う。

A 御指摘のとおり、現在教育委員会で出している補助金、特にスポーツの補助金については、社会教育団体というくくりで交付されているが、これが外れることになる。したがって同じ要綱を使うことはできないので、適正な見直し、運用を図っていきたい。

Q 現在、補助金の交付対象となっている団体と同じような活動をしているクラブチームがたくさんある。学校の部活動が縮小傾向にある中、その受け皿という意味でもクラブチームがきちんと運営できる体制をつくっておかなくてはならない。活動に差がなく、社会教育団体というく

くりもなくなるのであれば、どちらも公平に扱わなくてはならないのではないかと。

A スポーツの補助金に関しては、1つの種目につき1つの団体にしか交付できないというルールがある。その教育委員会で決めたルールが市長部局でしっかりくるのかどうか、しっかりと精査したい。

公明党

こまつ
小松 幸子

男性の生き方相談窓口設置

Q 夫が暴力さえ振るわなければ離婚をしたくないという妻も多い。こうしたDV家庭の崩壊を救うためにも、男性の生き方相談窓口設置が必要と考えるが、見解は。

A 先進市では、男性相談員の確保、相談窓口の開設方法、相談者への対応のあり方などの課題を抱えているところもある。引き続き男性の生き方相談窓口の設置について検討していく。

ブロック塀を含む外壁の安全対策

Q 大阪北部地震で小学校女児がブロック塀の下敷きになり死亡した。公明党柏市議団は、学校、公共施設及び通学路の安全対策を求める緊急要望書を6月20日市長へ提出した。公共施設等のブロック塀を含む外壁の緊急総点検の実施及び改修、通学路上の個人管理のブロック塀を含む外壁の緊急総点検の実施及び指導について伺う。

A 6月下旬から7月上旬に、1,166施設の緊急点検を行い、安全対策が必要な箇所は、54施設86カ所。優先的に対応が必要な箇所は、対策工事を実施した。通学路に面するブロック塀は、学校から500mの範囲で学校教員による緊急点検を実施した。施設等の点検や危険なブロック塀等の改善に努める。

デートDV^{知+}防止教育

Q デートDVに結びつきやすい考え方を多くの若者が持っていることがわかってきた。子どもたちがデートDVやDVの加害者にも被害者にもならないように防止教育を広げる責任があるのでは。

A 今後もデートDV防止教育の実施について学校に働きかけるとともに、関係機関や公益活動団体の協力、支援を得ながら、人権教育の充実にも努める。

北柏駅北口土地区画整理事業

Q 北柏駅周辺は、今後どのようなまちづくりを進めていくのか。特に市民要望の多いスーパーマーケット系商業施設の立地計画と北柏駅北口のバリアフリー化については。

A 新たに整備する北柏駅前広場周辺の土地を対象とした権利者の皆様と勉強会を立ち上げ、意見交換を行いながらスーパー等の商業施設の立地について検討を進める。北柏駅北口連絡橋のバリアフリー化では、国道6号と鉄道との間にバリアフリー化された新たな駅前広場を整備する計画となっている。駅前広場から駅に直結する新たな自由通路等の整備検討とあわせた総合的な北口のバリアフリー化の検討を進める。30年度から駅歩行環境の改善に向けた検討基礎調査に着手する。今後は、JR東日本と新たな自由通路整備等の具体的な協力を進めていく。



北柏駅北口ロータリー

公明党

はしくち
橋口 幸生

SDGs^{知+}事業の推進

Q 消費者に対して、SDGs事業の推進にもつながる食品ロス削減に向けた理解や関心を深める教育に加え、知識の普及・啓発をし、行政と消費者が一体となり、SDGs事業推進に向けた食品ロス削減計画を定めるべきと考えるが、見解を伺う。

A 今後の自治体経営にSDGsを導入し、定着させることの意義や方策をディスカッションする国際フォーラムが、平成29年に本市で開催され、SDGsの必要性について認識を深めたところである。これを踏まえ、今後策定予定の第五次総

合計画後期の基本計画では、SDGsの各施策への反映を検討していく。引き続き国の動向を注視しながら、先進市の取り組み等を研究していく。子供に対する環境教育は、食品ロスを持続的に削減していく上で重要であると考えており、30年度から学校給食の食べ切りや食育をより推進するため、柏ペロリンピック事業を一部の学校とともに始めている。



保育アシストデスク³

保育士または看護師の資格を持つ相談員が、子育てに関する相談を受けるとともに、それぞれのニーズや状況に合ったさまざまな保育サービスなどの情報をわかりやすく案内する相談窓口

ラグビーワールドカップ³

4年に1度行われる15人制ラグビーの世界王者決定戦のこと。夏季オリンピックやFIFAワールドカップとともに、世界3大スポーツイベントと呼ばれる。平成31年は9/20～11/2の日程で、日本全国12会場で開催

事前キャンプ³

ラグビーワールドカップ出場チームが調整のために行うキャンプで、本市では平成31年9/10～14の期間を予定

ハカ³

ニュージーランドの先住民マオリが戦いの前に行った伝統的な踊り。現在ではニュージーランドの一般的な民族舞踊となっており、歓迎式典、結婚式、葬儀などで披露され、ラグビーニュージーランド代表（オールブラックス）が試合前に踊ることで知られている

デートDV³

交際の異性への暴力行為。殴る、蹴るといった身体的な暴力行為のほか、罵倒する、金銭を要求する、性行為を強要するなどを含む

障害者雇用

Q市職員の受験資格に、自力により通勤ができるという要件がある。改正障害者雇用促進法や障害者差別解消法に基づき、送迎により通勤ができる障害者も試験を受けられるよう見直すべきではないか。

A平成28年4月の障害者雇用促進法の改正や障害者差別解消法の施行などを契機に、職員の受験要件を見直す自治体がふえており、本市でも前向きに検討し、実施する必要があると認識している。次年度の職員採用試験では、受験要件を見直した場合に必要な配慮などを検討し、自力で通勤できない障害者を含め、多くの障害者に配慮した受験要件を定めるなどの見直しを行った上で実施したいと考えている。

災害対策

Q激甚化する想定外の災害にどう備えるべきか、災害対策を考える前提条件から抜本的な見直し求められるが、現状と今後の課題は。あわせて、災害時の家族同士の連絡方法など、市民への周知徹底を図るべきと考えるが、見解は。

A本市では、国・県の最新の調査結果や直近の災害で明らかになった課題等を踏まえつつ、本市の特性や防災上考慮すべき地震・風水害を想定した防災アセスメント調査を行っている。30年度末をめどに調査をまとめ、31年度以降の柏市地域防災計画の抜本的な修正を計画しているところである。市民への周知は、これまで新聞・広報紙・メール・ツイッターなどを通じて周知啓発に努めているが、引き続き情報発信に努めていく。

制度をつくることを求める。

Aできるだけ早く実施する。

アレルギーを持つ児童生徒への支援

Q学校が保護者に提出を求めている、医師発行の学校生活管理指導表は、4人に1人は未提出になっている。1通3,500円と負担が大きい。本当に必要な全額補助することを求める。

A補助制度の検討と、文書代は医師会に協力を求めること、両方進めていく。

アミュゼ柏の暑さ対策

Qアミュゼ柏の2階は35度を超える暑さになる。暑さ対策を進めることを求める。

A平成31年の夏までに実現させる。

給食費無償化

Q財政的には36億円の黒字がある。給食費の第3子以降無償化を求める。

A恒久的財源確保が必要。財政当局の意向もある。

公明党

なかしま たかし
中島 俊

市役所組織について

Q市職員の時間外勤務、夜間勤務、休日勤務の手当の年間合計が、8億を超える額となっている。代休日の奨励をどう考えるか。また、国の働き方改革を踏まえ、時間外勤務削減に取り組むべきと思うが。

A振りかえの運用は、非常に大事だと考えている。ふだんの業務の改善の中で生産性を上げる、あるいは業務を変えることで削減できる余地はまだあると思うので、努力したい。

学校給食費の無償化について

Q今後、どのように進めていくか。無償化に向けての課題とは。

A現在の本市において無償化を実現するためには、恒久的な財源の確保が必要である。第3子から無償化とした場合でも約1億円が必要となるため、国からの支援が望まれるところだ。

Q職員の時間外勤務、夜間勤務、休日勤務等手当の削減分を給食費の無償化へ充てることができるか。

A多子世帯の経済的負担を軽くするため給食費無償化とした場合、多子世帯は給食だけに限らず、さまざまな子育て費用がかかる。そのほか子育てにかかる額のサポートで見れば、直接的な費用無償化より、例えば、第3子に対する基礎控除を大きくするとか、さまざまなやり方の余地をつくることも考えるべきだ。いずれにしても、子育て世代を支えていくのは重要と考えるし、合意度も高い。国の状況を見ながら検討したいと思う。

ブロック塀対策

Q小中学校の通学路にあるブロック塀調査から見た課題について、また助成制度についてどのように考えているか。

A現在までの調査状況は、市内全42の小学校のうち3分の1となる14校の調査を終えた。そのうち870カ所、約77%のブロック塀は、基礎や控え壁が不十分で、建築基準法に定められた基準を満たしていない。さらに、調査対象の約4%、45カ所については、危険なブロック塀として早急な対応を必要とした。このことから塀の所有者には調査結果を伝え、注意喚起を促している。ブロック塀撤去のための補助金の問い合わせもある。市としては今後、市内全小学校通学路500m範囲の現地調査を年明けを目途に集中的に進める。通学路以外のブロック塀については、市民からの問い合わせに基づいて、職員が現地調査と危険度判定、所有者への説明を行う体制をとる。また、危険ブロック塀については、撤去工事についての補助制度創設準備を進める予定だ。撤去後、生け垣助成金交付制度を行うつもりだ。



学校外周のブロック塀

日本共産党

むとうみつえ
武藤美津江

障害者の雇用水増し問題

Q国が法に反して、障害者の働く権利を侵害するということが、国民への裏切り行為であり、重大問題だ。本市の障害者雇用の実態はどうか。

A法定雇用率は達成している。障害者の積極的な採用と、障害を持つ職員を含む全ての職員の職場環境整備に努める。

生活保護基準の改定

Q今回の改定で約7割が保護費の引き下げになる。生活保護の捕捉率が低い問題を放置したまま、所得の低い一般世帯と比較して扶助基準を引き下げるのであれば、生活保護費は下がり続ける。国に対して生活保護基準の引き下げをやめ、基準の引き上げを求めるべきでは。

A一律の減額ではなく、増額になっているケースもある。この基準は検証結果を

踏まえた上で世帯の影響にも配慮している。本市としては基準を国に求めることは考えていない。

南増尾小鳥の森隣接林の宅地開発

Q南増尾小鳥の森の隣接林を宅地開発して、29棟の住宅を建設する際、突然工事が始まり、初めて目の前に4メートルの擁壁ができるということがわかった。市は開発業者に、住民に対して丁寧に説明を行うよう指導したのか。

A近隣住民の周知に当たっては、直接訪問による説明や説明会の実施など、事業者として丁寧にを行うよう、働きかけた。

Qポストに資料を投函しただけで、説明責任を果たしたことになるのか。何のための紛争防止条例か。

Aちゃんと会って説明し、内容を理解していただけるよう強く働きかける。

日本共産党

ひらの こういち
平野 光一

柏駅周辺基本構想(柏セントラルグランドデザイン)【知+】市の財政負担は

Q市長はこの構想を羅針盤だと言っているが、本市の負担は数百億円か、1千億円規模か。市の負担、税金、その結果としての市民福祉の増進について事前に十分な検討が行われるべきではないか。

A構想で示されているリーディングプロジェクトは、事業費を算出し費用対効果を検証する性格のものではない。

ビラ配り禁止看板の法的根拠は

Q柏駅西口にビラ配り等を禁止する看板がある。横浜市や川崎市は法的根拠がないとして撤去した。ビラ配り、署名活動等は憲法が保障する言論表現の自由とし

て最大限保障されるべきもの。他の駅なども調査し、撤去することを求める。

A一部誤解を招きやすい表現となっている。看板内容の見直し等に向け精査していく。ほかの駅前の看板等についても再点検し必要な措置を図る。

国保の延滞金先取りは権利の侵害

Q国保の保健事業の助成は、保険料未納の場合受けられない。また、保険料を払わないでいると最終的には給付費が保険料に充てられる。この「保険料」には延滞金も含むのか。

A給付と助成の制限の判断の基礎となる根拠法令上の保険料には延滞金は含まない。

Q現年度分は後回しで古い滞納分からの期別本料優先の徴収が行われれば、永久に保健事業が使えない。権利が侵害される。滞納した保険料の納付が終わり延滞金だけが残っている場合、保健事業は利用できるはずではないか。

A申請があれば利用できる。

日本共産党

やざわ ひでお
矢澤 英雄

平和事業の充実

Q核兵器廃絶と二度と再び戦争を起こさない決意を本市から発信するため、松戸市、流山市、我孫子市のように、小中学生を平和大使として、広島市に派遣することを求める。

A学校訪問事業を優先的にやる。

Q松戸市、流山市、我孫子市に比べ予算が少ない。平和事業予算をふやすことを

求める。

A必要に応じた予算を講じる。

ブロック塀の安全対策

Q学校や公共施設の危険なブロック塀の安全対策を早急に実施することを求める。

A既に工事を進めている。補正予算で行うもの、31年度実施するものもある。

Q対応が必要な民間のブロック塀については、ブロック塀の補修、撤去補助金の

日本共産党

くさか こ
日下みや子

国保の負担軽減対策を

Q財政調整基金の活用と市独自の公費投入で国保料の負担軽減を求める。

A30年度末の基金残高は約23億6,558万円。基金は大幅引き上げ抑制のため将来にわたって活用したい。本市独自の公費投入は今現在考えていない。

コミュニティバス実現へ

Q素案で示された中央南北ルートは見直すとのことだが、どのように区域を設定し、どんなスケジュールで進むのか。

A現在計画の修正を行っている。しっかり地域の実情を把握し、検討に生かす。秋ごろをめどに策定を進める。手法とし



SDGs (エスディーゼーズ)
Sustainable Development Goalsの略。2015年に国連が定めた新たな持続可能な開発目標のこと。貧困や飢餓をなくすこと、質の高い教育を提供すること、環境や天然資源を持続可能な方法で管理することなどの目標が含まれる

柏駅周辺基本構想(柏セントラルグランドデザイン)
柏アーバンデザインセンター(UDC2)が公民学連携のもととりまとめた、柏セントラル(柏駅からおおむね500m圏内)の20年後の将来像を描いた基本構想

UDC2
柏アーバンデザインセンターの通称。柏駅周辺のまちづくり拠点。公共、民間、大学等、柏駅周辺にかかわるさまざまな人で構成されている

スクールソーシャルワーカー
子供の家庭環境等による問題に対処するため、児童相談所と連携し、教員を支援する福祉の専門家のこと。本市では今年度、不登校支援の学習相談室等に6名を配置している

て地域が主体となり、行政や事業者が連携する岐阜市を参考にしながら検討する。

水道事業について

Q 政府が進めようとしている水道の民営化は進めるべきではないのでは。

A 本市は水道事業の経営が安定しており、現在のところ導入の検討の予定はない。

Q 水道管の漏水対策で迅速に対応できないのは技術職員の減少があるのでは。

A 確かに早急に措置できないのは人員不足もある。管の調査をし、計画的に直す。

公園遊具の安全点検と修繕

Q 公園遊具の安全基準は守られているか。

A 安全基準は法でも明確化され、今のところ守られているのではないかと認識し

ている。

東町交差点の安全対策を

Q 県の共同現地診断で示された交差点改善の方向と取り組み状況はどうか。

A 横断歩道・停止線の補修、交差点南東側に歩行者のたまり場を設け、車両誘導を兼ねた車どめポールの設置など改善を図った。残る課題の改善にも努力する。



市内公園の遊具

り、特別支援学級担任の専門性を高め、資質、能力の向上に努める。

福祉について

Q 交通弱者対策は個別的対応を福祉の

観点で捉え、検討すべきと考えるが。

A 買い物や通院、通いの場といった地域の移動手段の確保に、福祉的観点からできる高齢者の移動支援策を調査研究する。

柏愛倶楽部

やました ようすけ
山下 洋輔

スポーツ・文化と地域経済振興

Q 3人制バスケ、BMX^{ビエムエックス}、スケートボード等が、オリンピック競技に追加された。公園設置や公共空間を活用し、競技環境を整えていくことはできないか。

A 歩行者天国のイベント、高架下や調整池の活用等は、関係者と協議し、課題を解決したい。公募設置管理者で公園内スポーツの施設の可能性も検討したい。

Q スポーツだけでなく、ストリートカルチャーとして、まちの活性化につなげていくよう取り組むことはできないか。

A 市場や先進事例を研究したい。

Q eスポーツ^{イーエスポート}の推進は、観光客や交流人口の増加も期待される。市の見解は。

A 発展性は認識している。スポーツ活用のまちづくりとしても研究したい。

Q 中央体育館改修に当たり、アリーナや複合的なホールは検討されたのか。

A あと30年の耐用年数があるとの調査結果により、長寿命化の改修を選択した。

学校施設複合化と地域に開かれた学校

Q 学校施設複合化についての方針は。

A 土小学校の長寿命化工事にて、NPOの拠点やこどもルームを再整備する。

公園のあり方

Q こんぶくろ池自然博物館の管理委託

の現状と今後の本市の方針は。

A 貴重な自然を後世に継承できるよう官民学が連携して、維持管理したい。

Q 今谷南子子供の遊び場が閉鎖され、かわりの公園をどのように確保するか。

A 隣接町会の子供の遊び場を再整備できるよう、地元町会と話し合う。

歩行者優先のまちづくり

Q 道路の拡幅が難しい中、一方通行で車道を減らし、歩道を確保できないか。

A 安全な歩行空間とにぎわいの創出は期待できるが、合意形成が難しい。

更生保護サポートセンターの設置

Q 保護司^{ホゴシ}のなり手不足の解消のためにも、早期の開設が必要ではないか。

A 必要性は認識し、検討する。設置までの面談場所の確保は支援していく。

ガラス張りのアミューゼ柏の暑さ対策

Q 1、2階のホワイエの暑さ対策は。

A 30年度中に2～4階に遮熱フィルムを施工する。1階は検討していく。



アミューゼ柏クリスタルホールのロビー

柏愛倶楽部

おかだ ちか
岡田 智佳

公契約の適正化と労働条件審査

Q 公契約条例^{コケイヤクテイリョウ}について、どのように考えているのか。

A 特定の契約だけを対象とするため、労働者全体の待遇の改善につながらないことから、まずは国が仕組みを整えるものとする。

Q 指定管理者の労働条件審査は、どのようになっているか。

A 引き続き、外部の専門家による労働条件審査と市職員による労働条件のモニタリングを組み合わせ、労働環境を整えていく。

介護人材確保への取り組み

Q 介護人材不足の実態については、どのように捉えているか。

A 現在、実態調査を実施しており、優先すべき課題を抽出し、効果的な取り組みにつなげていきたい。

ワークルール教育^{ワークルールイデオ}の推進

Q 働き方改革関連法が成立し、日本の労働慣行が大きな転換期を迎える今日、中学生にも、ワークルール教育のさらなる推進が必要だと考えるが。

A 必要性がより高まっていることは認識しており、実施については、地域や外部機関との連携を重要視していく。

頑張る市内の小零細企業への優遇措置

Q 保護司^{ホゴシ} 犯罪や非行をしした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア。保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員とされているが、給与は支給されない。全国に約4万8,000人いる

Q 子育て支援企業、障害者雇用促進企業、両立支援企業^{リョウリツシヤンシヤク}、協力雇用主^{キヤクリヨウシユ}などに対して、市は入札や契約で何らかの優遇措置を設ける必要があると考えるが。

A 先進事例等の調査研究を行いながら、適宜協議していきたい。

台風時等における空き家の安全対策

Q 台風の前日、隣家の空き家の屋根が飛ばされそうだという連絡を受けた。空き家解消に向けた市の取り組みは。

A こうしたケースでは、緊急処置として担当課と消防局が連携し、必要最低限の措置を講じている。空き家解消については、司法書士など市内の専門家団体との連携による取り組みを進める予定である。

高柳駅東口駅前広場整備事業

Q 地域住民、高柳駅東口利用者は、駅前道路の早期拡張を求めているが。

A 「早期実現を」との御意見は、重く受けとめている。



高柳駅東口駅前広場

日本共産党

わたべ かずこ
渡部 和子

柏駅周辺のまちづくり

Q UDC 2^{ユージーシー}が示した柏駅周辺基本構想(柏セントラルグランドデザイン)^{コク}では住宅を2倍にするというが、タワーマンションを林立させるのか。

A 積極的にふやす考えはない。

Q そごう柏店駐車場の解体が始まっているが、跡地は何になるのか。

A 土地利用については決まっていない。

市立柏病院の建てかえ

Q 災害時における公立病院の役割を検討し直し、1日も早い建てかえを求める。

A 病床利用率向上と小児科の入院体制の構築を確認して、その先を判断する。

Q 災害が起きた時、今の病院で役割が果たせるのか。

A 病院間でさまざまな連携をとっていく。

消防施設改修と消防力向上

Q 仮眠室の個室化が必要ではないか。

A 7つの消防庁舎については仮眠室の個室化は困難である。大規模改修の際に個室化を実現したい。

Q 女性消防士をふやすべきではないか。

A 女性消防士の活躍が市民サービス向上と組織の強化につながっている。女性消防士の割合を6%にしていきたい。

Q 老朽化している沼南消防署は、早期の建てかえが必要ではないか。

A 消防庁舎整備は必要と緊急性を調査し検討していく。



手賀分署の仮眠室(個室)

学校体育館へのエアコン設置

Q 災害時の避難場所となる学校体育館へのエアコン設置を求める。緊急防災・減災事業債を活用できるのではないか。

A 必要性は認識している。設置費用や維持管理費を考慮し、慎重な判断が必要だ。優先順位や何が必要か考えていきたい。

柏愛倶楽部

よしだ すずむ
吉田 進

安全について

Q 土南部小学校の門は2カ所あるが、豪雨時には冠水し、入れない。校庭も同様である。対策はどうか。

A 計画的に浸水対策を進めている。避難通路の確保のための排水措置等について、関係部署と連携して対応する。

Q 本市は備蓄品のアレルギー対応粉ミルク、離乳食、哺乳瓶、消毒器具等の備蓄がない。家庭での備蓄品が被災した際、公的備蓄品は必要であるがどうか。

A 民間事業者と災害時等における物資の供給等に関する協定を締結して、調達できるように検討する。

Q ブロック塀の倒壊は、防ぐことのできる事故である。ブロック塀撤去、生け垣

助成金交付制度は有効な手段であり、復活し推奨すべきであるがどうか。

A 災害時の道路空間の安全確保を図るため、危険ブロック塀の撤去費用の一部を補助する予定である。生け垣助成金交付制度も復活の調整をする。

教育について

Q 不登校の児童生徒は増加傾向にあり、小学校199名、中学校456名の不登校児童生徒を、スクールソーシャルワーカー^{コク}は6名で対応している。各学校に配置する配置型を要望するが、当面中学校区に1人の配置を強く要望する。

A 十分な支援ができていないとは言えない。支援が必要な児童生徒や保護者に、きめ細やかな対応をし、スクールソーシャルワーカーのあり方を十分に検討し、まずは全中学校区への配置を段階的に拡充したい。

Q 特別支援学級担任は、児童一人一人に応じた支援が求められるため、特別支援学校教諭免許状の取得で、専門性を高める必要があるがどうか。

A 千葉県でも免許状の取得を推奨してお



防災備蓄品



5
ビエムエックス
BMX
bicycle motocross (バイシクルモトクロス)の略。専用自転車を使ったオフロード(舗装されていない場所)などで行う競技。2020年東京オリンピックにて追加種目となることが決定した

5
イーエスポート
eスポーツ
エレクトロニック・スポーツの略。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

5
保護司
犯罪や非行をしした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティア。保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員とされているが、給与は支給されない。全国に約4万8,000人いる

5
公契約条例
地方公共団体が民間企業やNPOなどに公共工事、物品の購入などの業務を委託するときに結び契約を公契約といい、その契約を結ぶ際の入札基準や落札者決定で契約先における労働者の生活賃金や雇用安定、男女共同参画など社会的価値を評価することを定めるものを公契約条例という

市民サイド・ネット

まつもと ひろみち
松本 寛道

市立病院の建てかえ

Q市立柏病院の老朽化は進んでおり、速やかに建てかえの具体的な検討に入るべきではないか。

A2つの条件を達成できるよう柏市医療公社と連携し取り組んでいる。達成状況を確認し、その後建てかえを判断する。

柏駅周辺整備及び都市計画マスタープランの「日常」と「非日常」

Q急激な人口減少が見込まれる既存住宅地の衰退を放置して中心市街地だけが活性化することはない。既存住宅地の購買力、人口の回復こそが中心市街地の活性化につながる。柏駅周辺地区に「非日常」を求めることに異議はないが、「非日常」がうまくいかないからといってマンション建設に頼るのは問題ではないか。

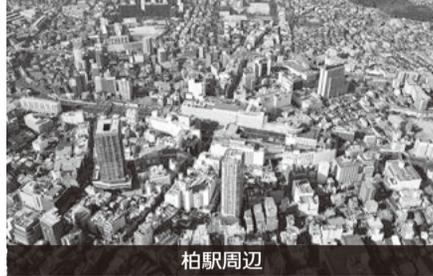
A柏駅周辺への日常性の導入についての市の考え方としては、非日常的な機能である高次都市機能の集積を図る拠点として位置づけている。積極的に日常性を導入する考えはない。

Q柏駅周辺イメージ調査アンケートから、市民は20年後の柏駅周辺のイメージとして高層マンションはやめてもらいたいと思っていることがわかる。市長はこれをどのように認識しているのか。

A多様な意見があるのだと思う。

Q資料で柏駅と比較している駅が、蒲田駅、大井町駅、中野駅、吉祥寺駅というのはおかしい。これらの駅は品川駅や新宿駅などの巨大な「非日常」を抱える駅に隣接している。都合よく駅を選んで見られるようにも見えるが、どうか。

A乗降客数が似たような形で、首都圏のまちがピックアップされたのだと思う。



柏駅周辺

船戸市民プールの行列の改善

Q市民から改善を要望されて調査した。入場するまでに30分以上も炎天下の中で並ばなくてはならず、改善が必要だ。券売機を設置してはどうか。

A炎天下の中で入場を待つ利用者の皆様には大変御迷惑をおかけした。議員の提案は効果的な方策であると認識している。入場時の混雑解消を図るための効果的な対策を前向きに検討していきたい。

市民サイド・ネット

はやし さえこ
林 紗絵子

揮発性化学物質の規制

Q国民生活センターでは香料などの化学物質による健康被害相談が多くある。中には神経毒性や内分泌攪乱作用、発がん性を有するものもあるが、一括表示が認められ規制もない。化学物質過敏症発症の危険性もあるため、啓発を行う自治体や保健所もあるが、本市はどうか。

A現在啓発は行っていないが、今後は市民からの相談状況等を踏まえて検討する。

Qまずは公共施設から化学物質を削減するため、総合防除(知+)の考え方に基づく薬剤使用の基本方針策定が必要ではないか。

A国の基準を遵守し、安全に留意する。

Q本市の指針を明確にしてほしい。

A担当課をつくる形で各課が協力体制を整えられるように努力する。

アレルギー対応

Q本市の学校給食アレルギー対応の手引は誤食事故を防ぐには不十分な内容で、29年度は15件、28年度は19件の事故が起き、救急搬送もあった。文科省が誤食死亡事故の再発防止を目的に作成し

た指針に沿って見直すべきではないか。

A教職員のわかりやすい手引になるよう見直し、周知徹底を図る。

Qごどもルームが、アレルギーでおやつを食べられない児童からもおやつ代を徴収しているのは問題だ。保育料とおやつ代の一括徴収を改めるべきだがどうか。

Aおやつは持ち帰りをお願いしている。現時点で徴収方法を変更する予定はない。

Q重篤なアレルギーを持つ児童が、持ち帰ったおやつを誤って食べる可能性など、危機管理としても問題だがどうか。

A保護者からは理解を得ていると考えるが、他市町村の状況を見て検討する。

避難所の運営

Q避難所開設運営マニュアルは、車中泊や自宅避難者への対応、障害者への配慮等が盛り込まれていない不十分な内容だが、平成24年から見直しがされていない。スフィア基準(知+)を参考に、最低限の基準や明確なルールを定めるべきだがどうか。

Aスフィア基準や国や県のガイドラインを踏まえ、今後見直しを進めていく。

護憲市民会議

すえなが やすぶみ
末永 康文

柏市立病院

Q市立病院を建てかえることが先である。有識者会議の前に、地域の皆さんの声をしっかり受けとめることが大事だ。

A市立病院を利用されている患者さんの御意見を伺うことは大切であるが、安定した医療を提供していく体制など専門家の話を伺いながら構築する。



市立柏病院

Q有識者会議は公開で行うのか。

A公開で行う予定だ。

Q安心で安全な市立病院として、現地建てかえを先行すべきである。

A安定的な医療、経営基盤の確立、強固な建物など総合的にやっていく。

コミュニティバス

Q高齢者の交通確保は緊急の課題だ。市境では特に不便である。近隣市と連携し利便性を図ることが大切だ。

Aバスの共同運行は双方の市のメリットが重要で、公共交通の空白不便地域を救えるようであれば協議する。

不登校問題

Q不登校がさらにふえている原因はさまざま。市内市立中学校の問題はいじめによるものなのに報告しない、教育委員会の体質が問題である。

A不登校児は増加傾向で、要因は多様化している。学習支援、カウンセラーなど児童生徒個々の状況に応じた支援を行う。

Qいじめによる不登校は学校で共有しているのか。

無所属

うちだ ひろき
内田 博紀

新年度予算編成について

Q心臓検診は、小4での心電図検査実施を踏まえどう充実するのか。

A31年度からの小学校4年生への心電図検査実施を目的に新年度予算の確保に向けて協議、調整を図る。

Q中原ふれあい防災公園隣接地の有効活用に係る検討状況はどうなっているか。

A市民の皆様が多世代で交流できるコミュニティ空間と中原ふれあい防災公園の管理事務所としての機能を有する建物

A小中学校で若干の違いはあるが、職員会議等で不登校などの情報を共有していく。

日常生活自立支援事業

Q認知症高齢者、知的障害者、精神障害者の自己決定能力が低下した方への生活支援について、対象者の把握と啓発運動はどのようにしているか。

A潜在的な対象者の把握は、難しいのが現状だが、地域でのさまざまな支援の仕組みがあり、支え合い活動ができるよう検討していく。

社会福祉法人

Q社会福祉法人は公的な性格も持つ法人でありながら、私物化ともとれるような運営、内部留保の積み立てなどの批判がある。地域貢献の指導はしているか。

A社会福祉法人は公益性・非営利性を確保する観点から、地域社会への貢献や余裕財産の明確化等が課されている。

児童相談所の設置

Q児童相談所の人材育成はしているか。

A高度な専門知識、技術などを有する人材の育成や配置をさらに検討していく。

を建設する方向性を確認した。来年度中には新たなコミュニティ空間を設置できるよう努めたいと考えている。

歳入歳出決算の認定について

Q動物愛護ふれあいセンターの機能を生かし、殺処分ゼロに向けてはどのような事業実施状況か。

A31年度についても、現在実施している事業の継続、拡充を図るため、関係者や関係機関と連携し、動物の殺処分ゼロに向けた取り組みを継続する。

無所属

きたむら かずゆき
北村 和之

動物愛護行政について

Q私は犬猫殺処分ゼロを目指すべきだと考えている。収容所の広さや犬猫の気性が荒いなどの理由で殺処分はあってはならない。ふるさと納税を活用した動物愛護団体への支援などにも取り組めば動物愛護が進み、殺処分がゼロに近づくとも考える。本市として殺処分ゼロを目指すか否か、ゼロに向けての取り組み認識はどうか。

A殺処分の現状は平成29年において、

犬3頭、猫85頭である。収容される動物を減らす対策の一つとして飼主のいない猫をふやさないための取り組みが重要と考えている。年2回の里親募集チラシの全戸回覧やホームページでの譲渡動物情報の更新を行っている。普及啓発活動として飼主や市民を対象とした犬猫のしつけ方教室を開催し、今後も現在実施している事業の継続拡充を図るため、関係者や関係機関と連携し殺処分ゼロに向けた取り組みを実施していく。

無所属

かみはし いずみ
上橋 泉

柏駅周辺基本構想(柏セントラルグランドデザイン)知+について

Qこの事業は、住宅地の空洞化対策のような他の事業との優先順位が問題になる。防災だとか、災害が起こったときの復旧の財源とも競合関係に入る。柏駅西口再開発は多額の国費を当てにしているが、このような局面がこの基本構想に幾つも出てくるだろう。全国各地の被災者の人たちが悲痛な声を上げている現在、この構想のために多額の国費を当て込むことが道徳的に正しいか。自分たちの住宅地

は住みづらくなったが、柏セントラルがにぎやかになったので幸せだと思われる人がいるだろうか。公共施設建設だけでなく、定住人口を2倍にすれば新たな学校も必要となり、上下水道の総入れかえも必要になるのでは。

A自分たちのまちが空洞化して幸せと考える人は一般的にはいないが、柏駅周辺のにぎわいがなくなって幸せと感じる市民もいない。リーディングプロジェクトについては公費負担を前提にしていない。広場は市民の命を守るために必要だ。



ワーカー教育

労働者が働くことや使用者が労働者を働かせることに関する法令などのルールや、ルールを実現するための諸制度等に関する教育と、これに準ずる啓発活動のこと

両立支援企業

職業生活と家庭生活との両立を支援するためのテレワーク等多様な働き方を可能とする雇用環境を整備している企業、また、子育て・介護により退職した方を再雇用する制度を導入している企業のこと

協力雇用主

犯罪・非行の前歴のために定職につくことが容易でない刑務所出所者等を、その事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間の事業主のこと

総合防除

化学薬剤だけに依存せず、作物を健全に育てて病害を取り除く方法や、天敵、病原ウイルス、誘引剤、忌避剤を利用して病害虫を防除する方法などを臨機応変に駆使し、総合的に病害虫を防除すること

スフィア基準

人道NGOグループ等によってまとめられた、災害や紛争などの人道支援活動を行う現場において、食糧や衛生など最低限満たさなければならない基準